

日本農芸化学会 2018年度大会

[SCIEX 共催] ランチョンセミナー

有機化合物の分析に必要不可欠なツール、質量分析装置。

その活用分野は、創薬研究、タンパク質や脂質などの生体成分の研究開発、

食品中の残留農薬試験や機能性成分についての研究など、

あらゆるアプリケーションに広がりを見せています。

本セミナーでは、東北大学大学院農学研究科 教授 仲川清隆先生より

SCIEX 独自のイオントラップを使用した質量分析による過酸化脂質の分析例を

紹介いただきます。またイオンモビリティ機能を有した QTRAP 6500+ SeleXION による

解析も紹介いただきます。質量分析を活用した先端の研究に触れるまたとない機会です。

ぜひご参加ください。



過酸化脂質 (脂質ヒドロペルオキシド) の質量分析

東北大学大学院農学研究科
機能分子解析学分野 教授

仲川 清隆 先生

[講演要旨]

私たちの身体を構成する脂質が何らかの原因で酸化され、過酸化脂質 (脂質ヒドロペルオキシド) が生じると、病気の要因になると考えられています。食品では油脂の酸化劣化は、品質に深く関わります。したがって、身体の中や食品中でどのような酸化反応 (ラジカル反応、等) が進んでいるのかを知ることは重要です。私たちの研究室では、生体や食品試料に含まれる過酸化脂質を質量分析を用いて異性体レベルで解析することで、酸化反応の種類を見極めようとしています。この見極めにより、例えば、酸化反応の種類に応じて適切な抗酸化物質を選択することで、効果的に酸化を抑制できるようになり、故に、病気の予防や食品劣化の防止により貢献できると期待されます。本ランチョンセミナーでは、イオンモビリティを用いた新たなデータも含めて、こうした我々の取り組みを紹介したいと思います。

日時 2018年3月16日(金) 12:30~13:20

会場 B08会場 (名城大学 共通講義棟 南館 3F S302)

プログラムNo.: LS1-6

司会: 建田 潮 (SCIEX)



株式会社エービー・サイエックス

本社: 〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー 21F

TEL: 0120(318)551 FAX: 0120(318)040

大阪: 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-19-3 ピアスタワー 3F

www.sciex.jp Email: jp_sales@sciex.com